

地域の方が講師に

弟子屈小学校のクラブ活動



茶道クラブで歩き方の指導を行う館さん(右)

弟子屈小学校(伊藤新一校長)では、クラブ活動の講師に地域の皆さんを招いて活動しています。地域の皆さんと交流し、長年その道を極めてきた方から本格的な技術を学ぼうと毎年行われています。7月2日から始まった今年度のクラブ活動。12のクラブのうち、茶道と琴、将棋の指導を地域の皆さんが行っています。指導を行うのは、茶道が館昭子さん、琴が辻谷幸代さんほか生田流琴友会の皆さん、将棋が井原誠さんです。児童の皆さんは、楽しみながら、その道に通じた方ならではの指導を受けています。



生田流琴友会の皆さんが琴クラブに協力



将棋クラブの指導を行う井原さん(右奥)



町の話題

町の話題

地域の役に立ちたい

今井林業が立ち枯れした木を撤去



安全確保のため慎重に作業を進める

今井林業(株)伊藤喜美雄代表取締役の皆さんが8月12日、旧営林署跡地で立ち枯れた木の伐倒処理を行いました。社会貢献活動として行ったもので、12人が参加。立ち枯れし、倒木の恐れのあるヤチダモなどが14本を伐倒しました。今回伐倒したヤチダモは、枯れてから5年ほど経過。車道に面し、歩道にもかかっていて、倒木による事故を防ぐために行われたものです。2011年春には、同地での植樹を予定しています。

伐倒処理には、てしかが郷土研究会会長の細川音治さんも立ち会い、ヤチダモの枯死を確認してから作業に取り掛かりました。

重機を使って伐倒

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

7月25日

平和の尊さを忘れない 戦没者追悼式で誓いを新たに



弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センターで行われ、遺族や関係者など約60人の参加者が黙とうをささげました。徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙げることは誠に意義深い」と式辞を述べました。その後、参加者一人一人が献花し、平和への誓いを新たにしました。

7月29日

安心・安全な地域づくりに役立てて JA共済が交通安全普及車両を寄贈



全国共済農業協同組合連合会北海道本部運営委員会(奥野岩雄会長)では社会貢献活動の一環として、全道各自治体に対し交通安全普及車などを寄贈しました。交通安全啓発活動に取り組む自治体や交通安全団体に活用してほしいと、道内133市町村と交通安全団体に、交通安全普及車103台、チャイルドシート122組、指導員用レインコート5,780着を寄贈。このうち本町には7月29日、交通安全普及車などが贈られました。同車両は今後、交通安全や防犯活動など、安全・安心な地域づくりに向けて有効活用されます。

7月28日

早起きして体を動かして気持ちいいね 摩周丘幼稚園でラジオ体操



摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)で7月28日、早朝ラジオ体操会が行われました。弟子屈ロータリークラブ(今井善昭会長)の皆さんの協力で行われたものです。この日は、同園の1学期の終業式。園児は保護者などと一緒に登園し、7時からラジオ体操を開始。夏休みを前に、親子で心地よく体をほぐしました。

8月6日

お盆を前に墓地をきれいに 豊寿会の皆さんが墓地を清掃



川湯の老人クラブ豊寿会の皆さんが8月6日、川湯墓地の清掃を行いました。お盆を前に、訪れるお墓参りの皆さんのためにお墓をきれいにしようと、毎年行っているものです。今年は15人が参加。無縁仏のお墓をきれいにしたほか、水飲み場やトイレの清掃、墓地内の草刈りなどを行いました。

8月1日

親子で木工に挑戦 夏休みトンカチ広場



町と町森林組合共催の木工教室「夏休みトンカチ広場」が8月1日、公民館で行われました。子どもたちの夏休みの工作の参考にと開催されているもので、今年で14回目。建設現場で残った角材やベニヤ板などを活用して、巣箱などを作る催しです。今回は小学生とその保護者など48人が参加しました。初めに、(株)ツーリズムてしかがの萩原寛暢さんが、桜ヶ丘森林公園げんきの森について講演。その後、参加した子どもたちは、のこぎりや金づちを手に、作品作りに熱中していました。8月19日には、作った巣箱を森林公園に設置しました。